

社会連携・社会貢献に関する方針

1. 目的

倉敷市立短期大学の理念に則して、社会連携や社会貢献の活動を目的として、社会連携・社会貢献に関する方針を策定する。

2. 方針

本学の理念のなかで、「地域に密着した高等教育機関として」、「地域の発展に寄与する」と明記しており、社会連携や社会貢献が全学に共通した重要な方針として継続的な質向上と活性化を図っている。また、社会連携・社会貢献が適切に機能しているかについても、定期的に検証し、その結果を改善・向上に結びつける。

3. 実施体制

(1) 組織

社会連携・社会貢献に関する継続的な質向上と活性化を図るための責任組織として学科及び専攻科、附属図書館、子育てカレッジ（親子交流広場“くららっこ”）、産学共同研究推進委員会、地域連携委員会を置く。これらの組織は、計画から実施、点検、改善という一連の取組みの主体として、企画運営協議会のスーパーバイズの下、社会連携・社会貢献を推進する。

(2) 手続き

- ① 教育研究成果の地域社会への還元のために、(1) 公開講座の開催、(2) リカレント教育への対応、(3) 地域社会との交流、(4) 倉敷市との連携、(5) 倉敷市の企業・民間団体との提携、(6) 子育てカレッジ（親子交流広場“くららっこ”）の社会活動、(7) 教職員・学生の社会活動、(8) 海外での研修や教育プログラム等を通じて、グローバルで高度な教育が受けられる場を提供する。
- ② 産学共同研究を軸に倉敷市内の企業と連携し、地域経済の活性化や地場産業の高度化、高付加価値を促進する。また、地域連携委員会の体制を強化し、地域社会との連携を強化する。
- ③ ミズーリ大学カンザスシティ校教育学部との単位互換協定や国際機関をはじめ、海外の大学との共同企画や教育プログラムなどを通して、研究・教育成果を国際社会に還元する。
- ④ 産学共同研究を中心に収集・蓄積されてきた多様で豊かな知的財産等を広く社会に公開していく。公開に際し、実物展示のみならず、インターネットを活用したバーチャル展示によって、公益性を高める。
- ⑤ 社会連携・社会貢献に関する適切性に対する評価は、それぞれの部局における自己点

検評価あるいは外部評価等によって行う。

(第1147回(令和4年度第20回)教授会)